

公害防止管理者等国家試験

正解とヒント 大気関係第 1 種～第 4 種 2021～2025 年度

正誤表

頁・行	誤（旧）	正（新）																																																
R07-61 下 1～R07-62 上 1	よって、下線部の記述及び表 1 の CO ₂ , CH ₄ , N ₂ O の世界平均濃度（2022 年）の記述より、CO ₂ が 417.9±0.2 ppm, CH ₄ が 1923±2 ppb, N ₂ O が 335.8±0.1 ppb なので、	本問は、表 1 の 2 段目の「1750 年と比較した存在比」の大小についての出題なので、表 1 の CO ₂ , CH ₄ , N ₂ O の「1750 年と比較した存在比」より、CO ₂ が 150%, CH ₄ が 264%, N ₂ O が 124%なので、																																																
R07-62・図 1	誤（旧） 表 1 主要温室効果ガスの大気中濃度、大気中寿命と温暖化係数 <table><tr><th></th><th>CO₂</th><th>CH₄</th><th>N₂O</th></tr><tr><td>世界平均濃度(2022年)</td><td>417.9 ± 0.2ppm</td><td>1923 ± 2ppb</td><td>335.8 ± 0.1ppb</td></tr><tr><td>1750 年と比較した存在比*</td><td>150%</td><td>264%</td><td>124%</td></tr><tr><td>2021 年から2022 年までの増加量</td><td>2.2ppm</td><td>16ppb</td><td>1.4ppb</td></tr><tr><td>2021 年からの増加分の比率</td><td>0.53%</td><td>0.84%</td><td>0.42%</td></tr><tr><td>世界平均濃度の最近 10 年間の平均年増加量</td><td>2.46ppm/ 年</td><td>10.2ppb/ 年</td><td>1.05ppb/ 年</td></tr></table> 単位は濃度で誤差幅は 68% の信頼限界による。平均手法は、GAW レポート No.184[7]に記載している。 *工業化以前の濃度を、二酸化炭素 (CO₂) は 278.2ppm、メタン (CH₄) は 729.2ppb、一酸化二窒素 (N₂O) は 270.1ppb と仮定した。本解析に使用した観測点数は、CO₂ (146 地点)、CH₄ (151 地点)、N₂O (109 地点)。 [出典：WMO 温室効果ガス年報（気象庁訳）第 19 号 2023 年 11 月 15 日] 正（新） 表 1 主要温室効果ガスの大気中濃度、大気中寿命と温暖化係数 <table><tr><th></th><th>CO₂</th><th>CH₄</th><th>N₂O</th></tr><tr><td>世界平均濃度(2022年)</td><td>417.9 ± 0.2ppm</td><td>1923 ± 2ppb</td><td>335.8 ± 0.1ppb</td></tr><tr><td>1750 年と比較した存在比*</td><td>150%</td><td>264%</td><td>124%</td></tr><tr><td>2021 年から2022 年までの増加量</td><td>2.2ppm</td><td>16ppb</td><td>1.4ppb</td></tr><tr><td>2021 年からの増加分の比率</td><td>0.53%</td><td>0.84%</td><td>0.42%</td></tr><tr><td>世界平均濃度の最近 10 年間の平均年増加量</td><td>2.46ppm/ 年</td><td>10.2ppb/ 年</td><td>1.05ppb/ 年</td></tr></table> 単位は濃度で誤差幅は 68% の信頼限界による。平均手法は、GAW レポート No.184[7]に記載している。 *工業化以前の濃度を、二酸化炭素 (CO₂) は 278.2ppm、メタン (CH₄) は 729.2ppb、一酸化二窒素 (N₂O) は 270.1ppb と仮定した。本解析に使用した観測点数は、CO₂ (146 地点)、CH₄ (151 地点)、N₂O (109 地点)。 [出典：WMO 温室効果ガス年報（気象庁訳）第 19 号 2023 年 11 月 15 日]		CO ₂	CH ₄	N ₂ O	世界平均濃度(2022年)	417.9 ± 0.2ppm	1923 ± 2ppb	335.8 ± 0.1ppb	1750 年と比較した存在比*	150%	264%	124%	2021 年から2022 年までの増加量	2.2ppm	16ppb	1.4ppb	2021 年からの増加分の比率	0.53%	0.84%	0.42%	世界平均濃度の最近 10 年間の平均年増加量	2.46ppm/ 年	10.2ppb/ 年	1.05ppb/ 年		CO ₂	CH ₄	N ₂ O	世界平均濃度(2022年)	417.9 ± 0.2ppm	1923 ± 2ppb	335.8 ± 0.1ppb	1750 年と比較した存在比*	150%	264%	124%	2021 年から2022 年までの増加量	2.2ppm	16ppb	1.4ppb	2021 年からの増加分の比率	0.53%	0.84%	0.42%	世界平均濃度の最近 10 年間の平均年増加量	2.46ppm/ 年	10.2ppb/ 年	1.05ppb/ 年	
	CO ₂	CH ₄	N ₂ O																																															
世界平均濃度(2022年)	417.9 ± 0.2ppm	1923 ± 2ppb	335.8 ± 0.1ppb																																															
1750 年と比較した存在比*	150%	264%	124%																																															
2021 年から2022 年までの増加量	2.2ppm	16ppb	1.4ppb																																															
2021 年からの増加分の比率	0.53%	0.84%	0.42%																																															
世界平均濃度の最近 10 年間の平均年増加量	2.46ppm/ 年	10.2ppb/ 年	1.05ppb/ 年																																															
	CO ₂	CH ₄	N ₂ O																																															
世界平均濃度(2022年)	417.9 ± 0.2ppm	1923 ± 2ppb	335.8 ± 0.1ppb																																															
1750 年と比較した存在比*	150%	264%	124%																																															
2021 年から2022 年までの増加量	2.2ppm	16ppb	1.4ppb																																															
2021 年からの増加分の比率	0.53%	0.84%	0.42%																																															
世界平均濃度の最近 10 年間の平均年増加量	2.46ppm/ 年	10.2ppb/ 年	1.05ppb/ 年																																															
R07-68・図 1・出典	[発性有機化合物（VOC）排出インベントリ検討会：「揮発性有機化合物（VOC）排出インベントリについて」（2025（令和 7）年 3 月）]	[揮 発性有機化合物（VOC）排出インベントリ検討会：「揮発性有機化合物（VOC）排出インベントリについて」（2025（令和 7）年 3 月）]																																																
R07-97・下 2	(テキスト表Ⅱ.7.1-1)	(テキスト表 Ⅲ .7.1-1)																																																